

公園に楽しいを、もっと!

県立都市公園 Park-PFI事業

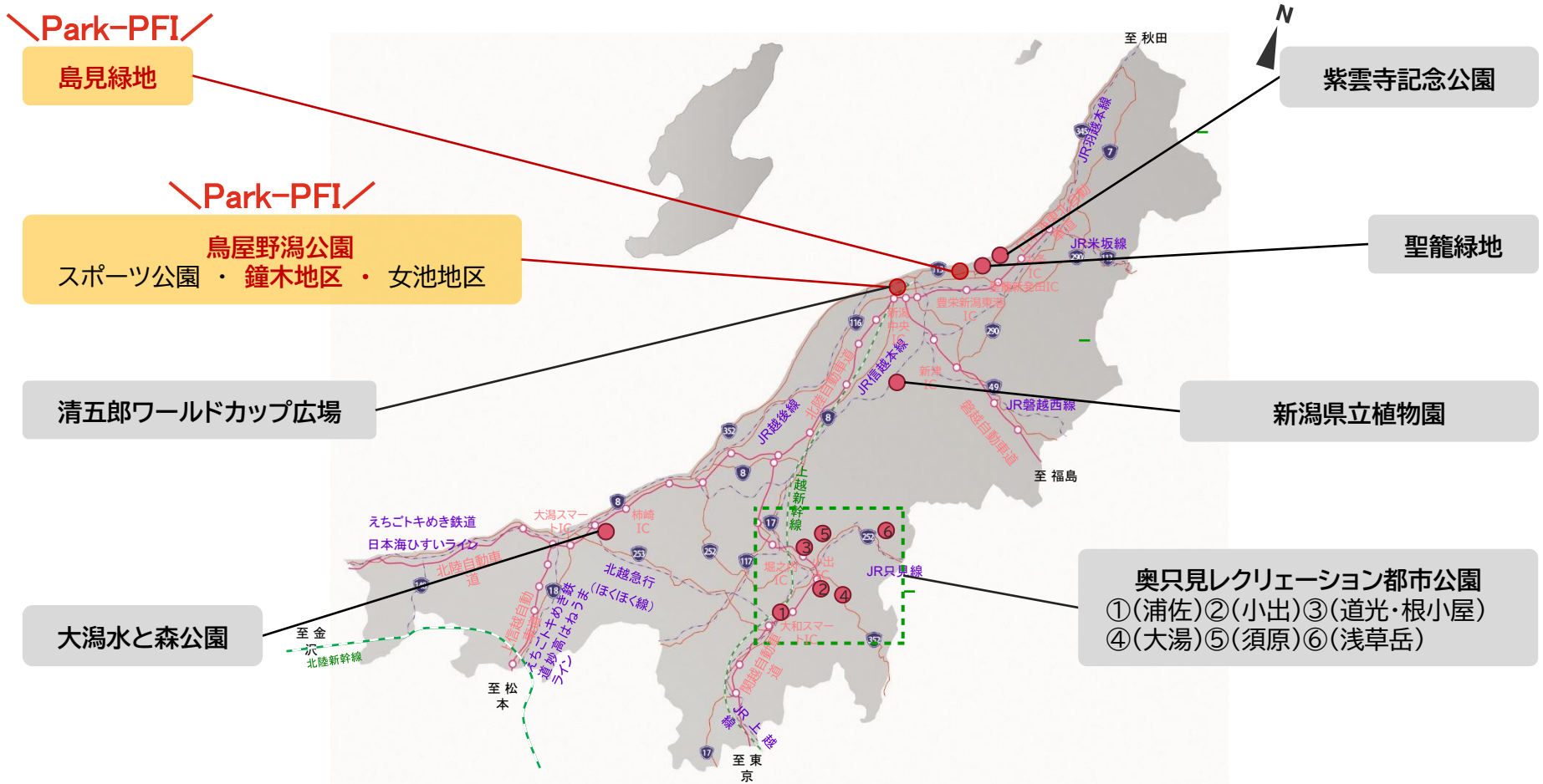


NIIGATA
PREFECTURE

土木部都市局都市整備課

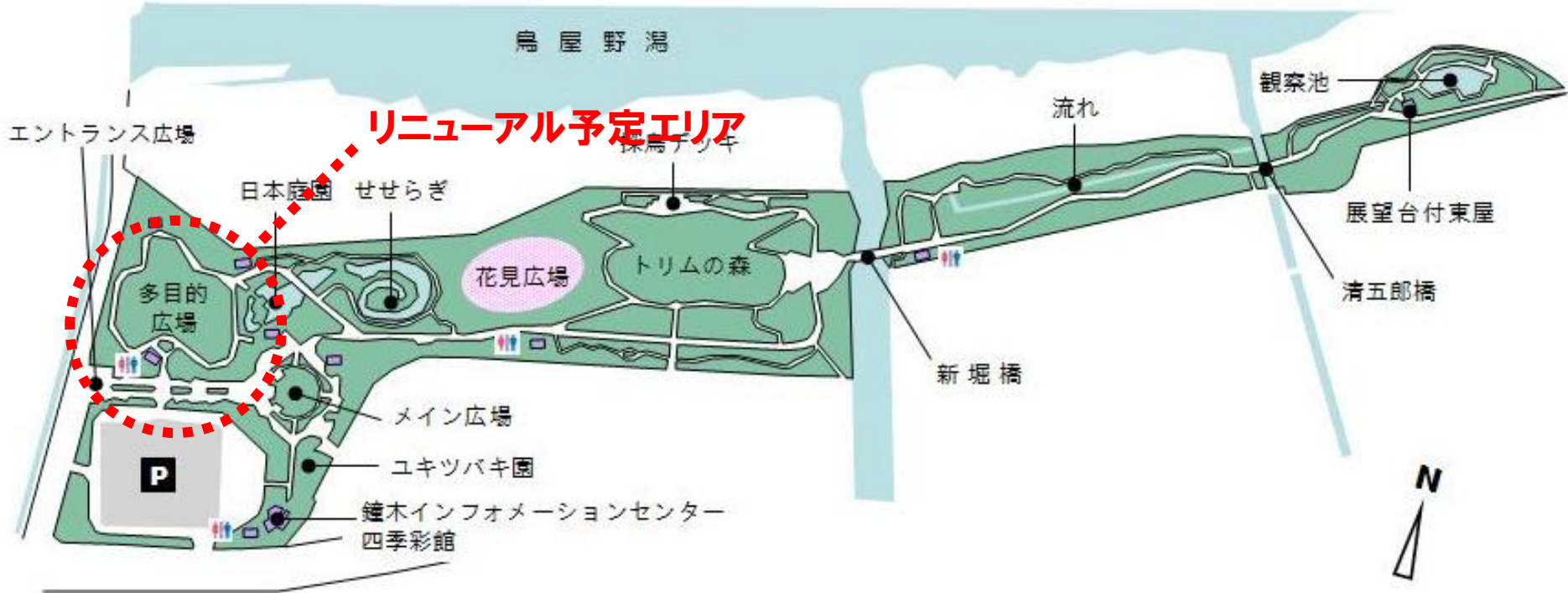
県立都市公園におけるPark-PFI事業

- ▶ 新たな魅力を創造のため、公園のリニューアルを計画中！
- ▶ 「鳥屋野潟公園（鐘木地区）」と「島見緑地」について公募実施に向けて準備中！
- ▶ 民間事業者の新たな事業の機会の創出、アイデアの実現を後押し！



鳥屋野潟公園(鐘木地区)

- ▶ 新潟市内で屈指の桜の名所！
- ▶ 日本庭園、ツキツバキ園、遊具のある多目的広場など多彩な魅力！
- ▶ 多目的広場などで様々なイベントも可能！



島見緑地

- 広いドッグランが大人気！
- サッカーやグラウンドゴルフが出来る広場も人気！
- 春には約500本の桜のお花見、秋にはイチョウ並木の紅葉が美しい！



参考事例①

岐阜県各務原市「KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE」

企業ブランディングと公園機能を融合し、単なる収益施設にとどまらない「体験型拠点」を創出したPark-PFI事例。

岐阜県各務原市 KAGAMIHARA PARK BRIDGE

公園の基本情報

自治体	岐阜県 各務原市
事業者	各務原学びの森コンソーシアム 代表法人 株式会社井上工務店
事業期間	20年
供用開始	2021年3月
スキーム	Park-PFI
公募対象公園施設の概要	延床面積 980.12㎡ ・1F：803.93㎡ ・2F：176.19㎡ 公園施設の種別：屋内遊戯施設、便益施設（飲食店3店舗） 入場料： （平日）こども・大人600円、シニア500円 （休日）こども・大人850円、シニア500円
特定公園施設の概要	トイレ、デッキ、広場、植栽等 市負担金：40,000千円 ※うち20,000千円は社会資本整備総合交付金（賑わい創出事業）を活用

参考となるポイント

- ✓ 代表法人のグループ会社である「飛騨五木株式会社」が事業展開している**木育施設「森のわくわくの庭」を中心に、飲食店などのリーシングを実施。**
- ✓ 特定公園施設としては、敷地内をぐるりと囲む「木もれ日デッキ」や、子ども連れも安心して使用できるトイレを整備。入場すると無料でレンタルできる遊具等も設置。



事業成立のポイント

■ 「企業ブランディングとの融合」。 **公園施設が単なる収益施設ではなく、企業の技術力や世界観を伝える「体験型広告塔」として機能。**公園の価値向上と企業のPRを両立させたWin-Winモデル。

参考事例②

愛知県「あいち健康の森公園 Park-PFI事業」

民間企業の技術・世界観を公園に実装することで、公園価値の向上と企業PRを両立したWin-Winモデル。子育て世代をメインターゲットとし、全天候型の遊戯施設などを整備。

愛知県 あいち健康の森公園

公園の基本情報

自治体	愛知県																			
事業者	あいち健康の森・あそびば計画共同体 代表構成団体：株式会社井上工務店 構成団体：三和建設株式会社、すみれアセットマネジメント株式会社、飛騨五木株式会社																			
事業期間	20年																			
供用開始	2026年夏頃予定																			
スキーム	Park-PFI																			
公園施設の概要	<p>(1)施設概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>施設</th> <th>規模</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">事業区域合計(施設面積以外を含む)</td> </tr> <tr> <td colspan="3">約4,000m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">公募対象公園施設</td> <td>屋内遊戯施設(飲食施設併設)</td> <td>約880m²</td> </tr> <tr> <td>屋外遊戯施設</td> <td>約130m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特定公園施設</td> <td>屋外テラス</td> <td>約630m²</td> </tr> <tr> <td>ドッグラン</td> <td>約70m²</td> </tr> </tbody> </table>	区分	施設	規模	事業区域合計(施設面積以外を含む)			約4,000m ²			公募対象公園施設	屋内遊戯施設(飲食施設併設)	約880m ²	屋外遊戯施設	約130m ²	特定公園施設	屋外テラス	約630m ²	ドッグラン	約70m ²
区分	施設	規模																		
事業区域合計(施設面積以外を含む)																				
約4,000m ²																				
公募対象公園施設	屋内遊戯施設(飲食施設併設)	約880m ²																		
	屋外遊戯施設	約130m ²																		
特定公園施設	屋外テラス	約630m ²																		
	ドッグラン	約70m ²																		
自治体	愛知県																			

参考となるポイント

- ✓ 中央エントランス付近の芝生広場を対象として、**子育て世代を始め、多様な世代による賑わいの場を創出する施設**として、飛騨五木グループの強みを活かした木造の遊び場施設の設計施工を計画。
- ✓ **全天候型の遊び場**や、リング状の展望テラスの整備等を予定。
- ✓ 全国初の「遊べるスターボックス」をテナントとして誘致予定。



事業成立のポイント

■**子育て世代をメインターゲット**として、**全天候型の遊戯場の整備**などにハウスメーカーならではの**木造建築のノウハウ**等を活かし、需給のマッチングに成功した事例。

参考事例③

群馬県「観音山ファミリーパークPark-PFI事業」

比較的に低利用率なエリアに民間収益施設を導入し、園内に新たな滞在拠点を創出。地元企業の設計・施工ノウハウを最大限活かすことで、事業を持続的に成立。

群馬県 観音山ファミリーパーク

公園の基本情報

自治体	群馬県
事業者	株式会社ヒロミヤ住建
事業期間	20年（15年での投資回収を目標）
供用開始	2021年1月
スキーム	Park-PFI
公募対象公園施設の概要	・ 占有面積：約600㎡ ■ カフェ（HYGGE TIMES）：テイクアウト可能なスープ・軽食の提供（フードキッチン1棟、レストラン小屋1棟） ■ 休憩スペース：日除けパーゴラ2棟、日除けシェード1棟
特定公園施設の概要	■ 休憩スペース・日除け小屋（フレームタイプ）1棟

参考となるポイント

- ✓ 森のスポレク広場と多目的広場の中間地点に位置しており、この地点でカフェ等を営業し、**比較的低利用率の低いエリアに新しい賑わいを創出する**目的でPark-PFIを実施。
- ✓ 施設全体は、周辺の公園の部分と境界線を設けることはあえてせず、**公園利用者の誰もが気軽に立ち寄りくつろげるように配慮**。
- ✓ 冷暖房を完備した小屋風休憩スペースの「THE LIVING」や、トレリスという隙間のある木材を組み合わせた日陰スペース「THE TERRACE」など、**整備事業者であるヒロミヤ住建のノウハウを最大限発揮した設計**となっている。



事業成立のポイント

■ **地域住民に馴染み深い地元企業が関わる**ことで、事業への共感と支持を獲得。**企業の持つ技術力と地域への貢献意欲が事業推進の原動力**となっている。